



Grass Valley
WE LOVE LIVE

EDIUS® X

EDIT ANYTHING. FAST

Software version 10.33.9453

EDIUS Hub サーバー
ユーザーズガイド
2022年11月

www.grassvalley.com

Copy and Trademark Notice

Grass Valley®, GV® and the Grass Valley logo and / or any of the Grass Valley products listed in this document are trademarks or registered trademarks of GVBB Holdings SARL, Grass Valley USA, LLC, or one of its affiliates or subsidiaries. All third party intellectual property rights (including logos or icons) remain the property of their respective owners

Copyright ©2021 GVBB Holdings SARL and Grass Valley USA, LLC. All rights reserved.

Specifications are subject to change without notice.

Other product names or related brand names are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Terms and Conditions

Please read the following terms and conditions carefully. By using EDIUS documentation, you agree to the following terms and conditions.

Grass Valley hereby grants permission and license to owners of to use their product manuals for their own internal business use. Manuals for Grass Valley products may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose unless specifically authorized in writing by Grass Valley.

A Grass Valley manual may have been revised to reflect changes made to the product during its manufacturing life. Thus, different versions of a manual may exist for any given product. Care should be taken to ensure that one obtains the proper manual version for a specific product serial number.

Information in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of Grass Valley.

Warranty information is available from the Legal Terms and Conditions section of Grass Valley's website (www.grassvalley.com).

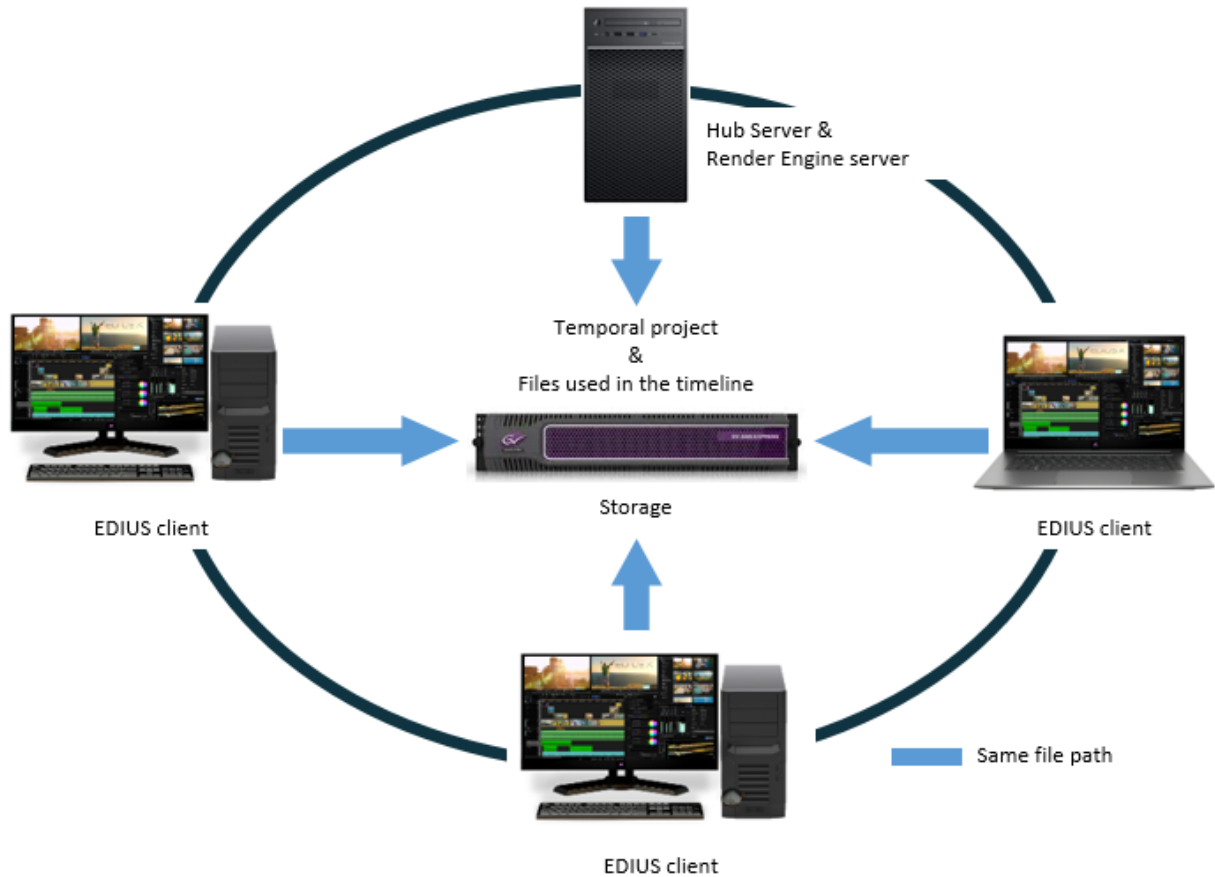
INDEX

Copy and Trademark Notice.....	1
Terms and Conditions	1
第 1 章 システム構築要件.....	3
ファイルアクセシビリティ.....	3
その他の条件	3
第 2 章 ハードウェア要件.....	4
すべてのコンポーネントを同じコンピューターにインストールする.....	4
別のコンピューターにコンポーネントをインストールする	4
第 3 章 サーバーのセットアップ.....	5
サーバーソフトをインストールする	5
ライセンスを認証する	6
第 4 章 サーバーを設定する	8
EDIUS Hub CLI を使用するための準備.....	8
プロジェクトフォルダーの登録	8
Windows の自動ログオンをオンにする.....	9
第 5 章 フローティングライセンスを使用する	10
GV License Manager を設定する	10
必要なライセンスが使用可能かを確認する	10
第 6 章 動作確認をする	12
ライセンスのチェックアウトを確認する.....	12
外部レンダリングのテスト.....	12
第 7 章 ライセンスを認証解除する	13
準備.....	13
フローティングライセンスを認証解除する	13
第 8 章 ライセンス管理	14
パスワードの変更	14
必要なサービスの状況を確認する	14
ライセンスサーバーモジュールを再起動する.....	14
APPENDIX.....	16
ライセンス一覧.....	16
EDIUS の起動時にエラーが発生する	16
ネットワークのトラブルにより使用できなくなる機能	16
ライセンスの認証/認証解除中にエラーが発生する.....	17

第 1 章 システム構築要件

ファイルアクセシビリティ

すべてのコンピューター（EDIUS クライアント、レンダリングエンジン、Hub サーバー）で、（タイムラインで使用するファイル、テンポラリプロジェクトの両方のファイルに）同じファイルパスでアクセスできる設定になっている必要があります。



その他の条件

以下は、システム構築に関するその他の要件です。

1. すべてのコンピューター（EDIUS クライアント、レンダリングエンジン、Hub サーバー）が同じサブネットに存在する必要があります。
2. 1つのシステムにつき、1台の Hub サーバーを導入する必要があります（複数台の Hub サーバーを導入することはできません）。
3. EDIUS GPU エフェクトのレンダリングには、Windows の自動ログオンをオンにしたレンダリングエンジンサーバーが必要です。
4. Hub サーバーはインターネットへ接続できる必要があります。フローティングライセンスサーバーを別のコンピューターで稼働させる場合は、そのコンピューターがインターネットへ接続できる必要があります。

第 2 章 ハードウェア要件

システム構築には、3つのコンポーネントのインストールが必要です。

- EDIUS Hub
- レンダリングエンジン
- EDIUS フローティングライセンスサーバー(フローティングライセンスシステムのみ)

同じコンピューターにインストールすることも、別々のコンピューターにインストールすることもできます。コンピューターのハードウェア要件は、システムの種類によって異なります。

すべてのコンポーネントを同じコンピューターにインストールする

OS

Windows Server 2019

CPU

AVX2に対応したCPU。Intel 第4世代以降のCPUまたは同等のAMD CPU。

メモリ

24GB以上のRAMサイズ

ハードディスク

必要なハードディスクの空き容量 40GB。SSD または SATA/7,200rpm 以上のハードディスクを推奨します。

グラフィックスカード

2GB以上のVRAMが必要です。レンダリングエンジンでは、さらに1024x768 32bit以上の解像度、Direct3D 9.0c以降、PixelShader Model 3.0以降に対応していることが必要です。GPUfx使用時のビデオメモリ容量の要件は、プロジェクトフォーマットにより異なります。10bitのビデオを編集する際、SDプロジェクトの場合は1GB以上推奨、HD/4K/8Kプロジェクトは2GB以上を推奨します。

別のコンピューターにコンポーネントをインストールする

各コンポーネントには以下のような要件があります。

	EDIUS Hub サーバークラウド フローティングライセンスサーバー	レンダリングエンジン
OS	Windows Server 2019	Windows 10 64ビット版 1903以降 Windows 11
CPU	AVX2に対応したCPU。Intel 第4世代以降のCPUまたは同等のAMD CPU	
メモリ	8GB	16GB
ハードディスク	40GB	6GB
グラフィックスカード	2GB	以下を参照

レンダリングエンジンのグラフィックスカード要件

- 1024x768 32bit以上の解像度をサポートすること。
- Direct3D 9.0c以降、PixelShader Model 3.0以降が必要
- GPUfx使用時のビデオメモリ容量の要件は、プロジェクトフォーマットにより異なります。10bitのSDプロジェクトの場合、1GB以上推奨、HD/4K/8Kプロジェクトは2GB以上推奨

第 3 章 サーバーのセットアップ

サーバーソフトをインストールする

EDIUS Hub サーバーとして使用したいコンピューターに、EDIUS Hub サーバーをインストールします。

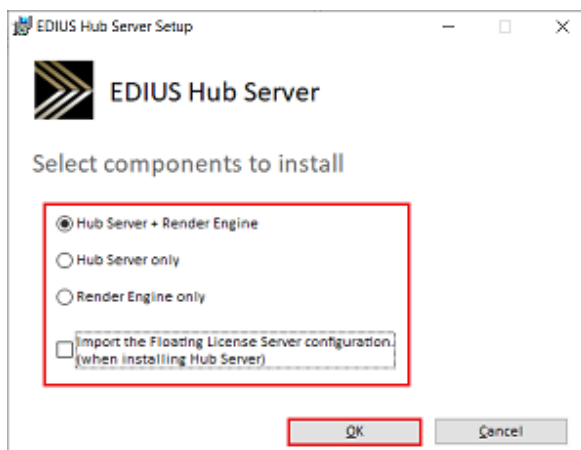
- NOTE**
1. サーバーを構築するために、以下のファイルを用意します。これらは同じビルド番号でなければなりません。
 - EdiusHubServer_Setup-xx.xx.xxxx.exe
 - EDIUS HUB CLI-xx.xx.xxxx.zip
 - GV_FloatingLicense_Setup-xx.xx.xxxx.exe (フローティング ライセンス サーバー コンピューターを個別に構築する場合のみ)
 2. EDIUS Hub を実行させる際に使用する OS アカウント (管理者権限を持つもの) でサインインしてください。
 3. EDIUS Hub server のベータ版を使用している場合は、インストール前に EDIUS Hub server のソフトウェアを削除することを推奨します。

- 1 **EdiusHubServer_Setup-xx.xx.xxxx.exe** を実行します。
- 2 [使用許諾条件に同意する] にチェックを入れ、[オプション] ボタンをクリックします。



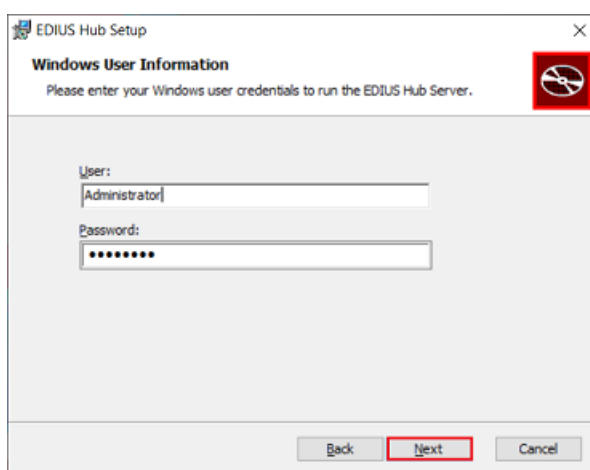
- NOTE**
- ウィンドウをスクロールして、必ずすべての条件に目を通してください。
 - [閉じる] をクリックすると、インストールが中止されます。使用許諾契約に同意できない場合は、インストールを中止し、文書で弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

- 3 インストールするコンポーネントを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



インストールオプション	インストールされるコンピューター
Hub Server + Render Engine	EDIUS Hub とレンダリングエンジンの両方が同じコンピューターで動作します。
Hub Server のみ	EDIUS Hub とレンダリングエンジンは別のコンピューターで動作します。
Render Engine のみ	
Import the Floating License Server configuration	フローティングライセンスサーバーがすでに稼働している場合は、オプションにチェックを入れて、既存の設定をすべて Hub サーバーにインポートします。

- 4 [インストール] ボタンをクリックします。
- 5 [次へ] ボタンをクリックします。
- 6 ユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



NOTE

- サインインしているOSのアカウントと同じユーザーとパスワードを入力します。
- 別のアカウントを使用する場合やアカウント情報を変更する場合は、EDIUS Hub Serverをアンインストール、再インストールする必要があります。

- 7 [Install] ボタンをクリックします。
- 8 [Finish] ボタンをクリックします。
- 9 [Restart] ボタンをクリックします。

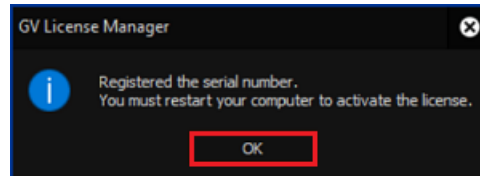
ライセンスを認証する

ライセンスを認証します。認証が必要なライセンス詳細は[こちら](#)を参照してください。

- 1 タスクトレイの通知領域で GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List] を選択します。
* アイコンが表示されない場合は、スタート > Grass Valley > GV LicenseManager (Server Mode) を選択し、ライセンスリストを開いてください。
- 2 オンライン認証ボタンをクリックします。



- 3 シリアルナンバーを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
- 4 認証されたライセンスがリストに表示されます。必要なライセンスが認証されているかどうかを確認します – [必要なライセンスについてはこちら](#)
- 5 [OK] ボタンをクリックします。手順#2～#5を繰り返し、合計4つのライセンスを認証します。
- 6 ライセンスリストを閉じ、OSを再起動します。



第 4 章 サーバーを設定する

EDIUS Hub CLI を使用するための準備

EDIUS Hub CLI ツールを EDIUS クライアントとサーバーの両方のコンピューターにコピーして解凍します。

- 1 サーバーコンピューターにフォルダー(例:C:\CLI)を作成します。
- 2 EDIUS HUB CLI-xx.xx.xxxx.zip をフォルダーに解凍します。
- 3 コマンドプロンプトを管理者権限で開き、C:\CLI に移動します。

プロジェクトフォルダーの登録

以下の手順でテンポラリープロジェクトフォルダーを登録します。

- 1 メモ帳を開き、以下のテキストを貼り付けます。

```
{
  "configurationType": "System",
  "classId": "com.grassavley.eh.renderEngine.configs",
  "environment": "default",
  "keys": [
    {
      "key": "sharedTempFolderPath",
      "value": "\\\\"{NAS NAME or IP}\\\"{TEMP PROJECT FOLDER}"
    }
  ]
}
```

- 2 Value にプロジェクトフォルダーを記します。

Ex. NAS NAME: EDIUSSHARED
フォルダー名: TempProject
→ "\\\"EDIUSSHARED\\\"TempProject"

- 3 C:\CLI に config.json として保存します。
- 4 eHub.exe token request と入力し、Enter キーを押します。
- 5 eHub.exe config create - -input-method file config.json と入力し、Enter キーを押します。
- 6 テンポラリープロジェクトフォルダーの登録に成功すると、以下の画面が表示されます。

```
C:\CLI>ehub.exe config create --input-method file config.json
{
  "id": "2c6d389d6db553c870c4bcee24367b90",
  "rev": "3-b1ad8a350fc7a652524e6881cf699f1b6ed6da01",
  "created": "2022-02-14T07:38:20.8731408+00:00",
  "modified": "2022-02-14T07:38:20.8731408+00:00",
  "configurationType": "System",
  "classId": "com.grassavley.eh.renderEngine.configs",
  "environment": "default",
  "keys": [
    {
      "key": "sharedTempFolderPath",
      "value": "\\\"EDIUSSHARED\\\"TempProject"
    }
  ]
}
```

```
C:\CLI
```

- 7 eHub.exe config list と入力し、Enter キーを押すと、設定が成功したことを確認できます。
- 8 同じ情報が表示されれば、テンポラリープロジェクトフォルダーの登録は成功です。

```
C:\CLI>ehub.exe ehub.exe config list
[
  {
    "id": "2c6d389d6db553c870c4bcee24367b90",
    "rev": "1-b3afebef605364b61506bfd769c34163d7891d5",
    "created": "2022-02-14T04:25:18.2471013+00:00",
    "modified": "2022-02-14T04:25:18.2471013+00:00",
    "configurationType": "System",
    "classId": "com.grassavlle.eh.renderEngine.configs",
    "environment": "default",
    "keys": [
      {
        "key": "sharedTempFolderPath",
        "value": "\\.\.\EDIUSSHARED\TempProject"
      }
    ]
  }
]
C:\CLI
```

- 9 コマンドプロンプトを終了します。


Windows の自動ログオンをオンにする

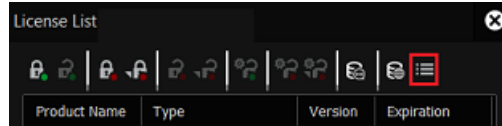
EDIUS GPU エフェクトが適用されたタイムラインをレンダリングするために、レンダリングエンジンは Windows ログオンを要求します。詳しくは、Windows Microsoft の記事で [Windows で自動ログオン機能を有効にする](#) を参照してください。

第 5 章 フローティングライセンスを使用する

GV License Manager を設定する

EDIOUS クライアントでフローティングライセンスを使用するためのオプションをオンにします。レンダリングエンジンが別のコンピューターにインストールされている場合は、そのコンピューターでもこの手順を実行します。

- 1 タスクトレイの通知領域で GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List]を選択します。
- 2 [設定] ボタンをクリックします。




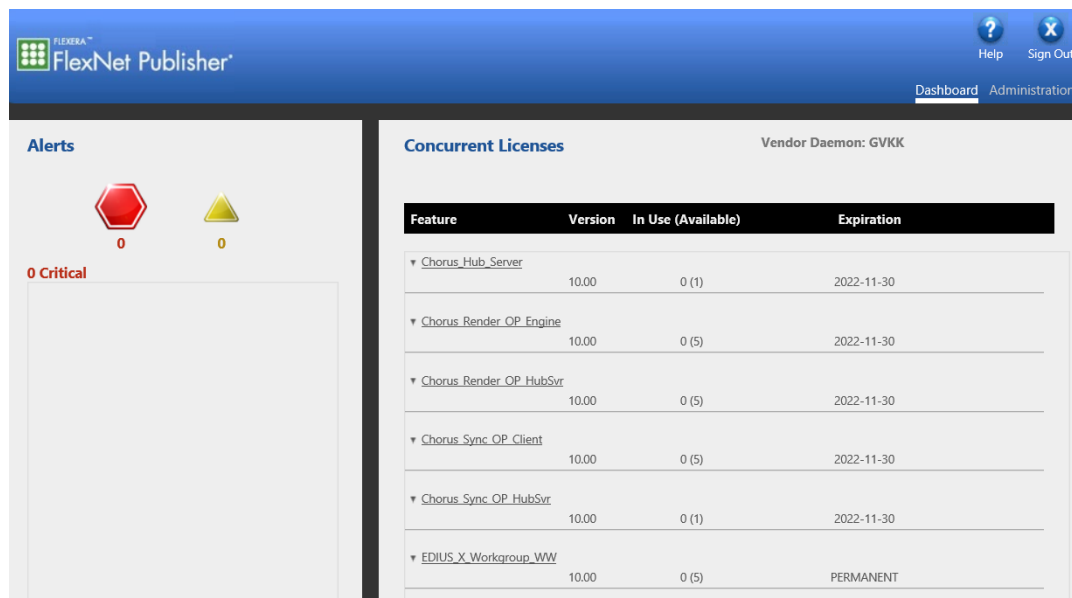
- 3 [フローティングライセンスサーバーを使用する] と [設定を自動的に取得する] の両方にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



必要なライセンスが使用可能かを確認する

サーバーコンピューターのライセンスコンソールに必要なライセンスが表示されているかどうかを確認します。

- 1 タスクトレイの通知領域で GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List]を選択します。
- 2 [ライセンスサーバーをブラウザで開く] ボタンをクリックします。
- 3 ライセンスコンソールが Web ブラウザで開きます。




4 以下のライセンスが表示されていることを確認します。

- Chorus Hub Server
- Chorus Render OP Engine
- Chorus Render OP HubSvr
- Chorus Sync OP HubSvr
- EDIUS X Workgroup

5 Web をブラウザ閉じます。

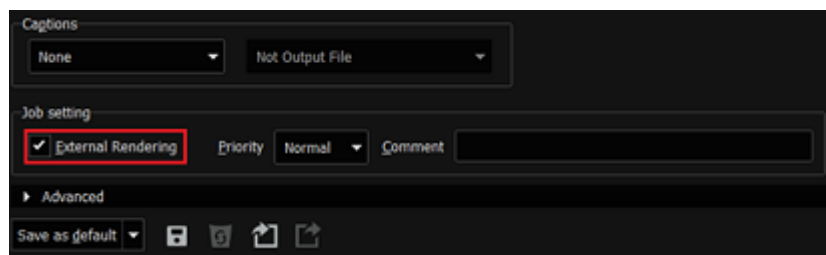
第 6 章 動作確認をする

ライセンスのチェックアウトを確認する

- 1 各クライアントの EDIUS を終了させます。
- 2 フローティングライセンスサーバー上で、タスクトレイの通知領域上の GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List] を選択します。
- 3 [ライセンスサーバーをブラウザで開く] ボタンをクリックします。
- 4 Web ブラウザでサーバーコンソールが開きます。EDIUS X Workgroup の使用中の数が 0 であることを確認します。
- 5 1 台のクライアントで EDIUS アプリケーションを起動します。
- 6 EDIUS X Workgroup で、**使用中の確認数が 1 に変更されたことを確認**します。
- 7 Web ブラウザを終了し、コンソールを閉じます。

外部レンダリングのテスト

- 1 EDIUS クライアントで新規プロジェクトを開始します。
- 2 共有ストレージからクリップをロードし、タイムラインに配置します。
- 3 f.11 キーを押し、任意のビデオファイルエクスポーターを選択します。
- 4 エクスポーターのダイアログで、[外部レンダリング] オプションにチェックを入れます。



- 5 エクスポート先を選択し、[保存] または [OK] ボタンをクリックします。
- 6 EDIUS アプリケーションの [Job] タブ、もしくは GV Job Monitor を開き、ファイルエクスポートジョブが表示、処理されることを確認します。

第7章 ライセンスを認証解除する


準備

- 1 GV Job Monitor 開き、キューイング、または進行中のジョブがあるかどうか確認します。これらがある場合は、終了を待つか、キャンセルしてください。
- 2 各クライアントコンピューターで EDIUS を終了させます。
- 3 Hub サーバー(または別のフローティングライセンスサーバー)で、GV License Manager のライセンスリストを開き、[ライセンスサーバーをブラウザで開く] ボタンをクリックします。
- 4 Web ブラウザでサーバーコンソールが表示されます。EDIUS X Workgroup ライセンスの使用中の数が 0 であることを確認します。
- 5 Web ブラウザを終了し、コンソールを閉じます。

フローティングライセンスを認証解除する

NOTE


- ライセンスを無効にする前に、すべてのクライアントで EDIUS を終了させる必要があります。
- オンラインによる解除はできません。

- 1 サーバークomputerの空いている USB ポートに、USB メモリを挿します。
- 2 USB メモリに、Hub フォルダを作成します。
- 3 フローティングライセンスサーバー上で、タスクトレイの通知領域上の GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List]を選択します。
- 4 ライセンスを選択し、[オフライン無効化 ID ファイル作成] ボタンをクリックします。
- 5 保存先として手順#2 で作成した場所を指定して[OK] ボタンをクリックします。
- 6 [OK] ボタンをクリックします。
- 7 手順#5 でファイルを保存したフォルダを zip ファイルにして、グラスバレーのテクニカルサポートに送付してください。
- 8 タスクトレイの GV License Manager アイコンを右クリックコンテキストメニューから [Exit] を選択します。
- 9 **Ctrl + Shift** キーを押しながら、スタート > Grass Valley > GV License Manager (サーバモード)を選択します。GV License Manager が表示されたら、押したキーを離します。
- 10 ライセンス一覧を開きます。
- 11 黄色い文字のライセンスを右クリックし、コンテキストメニューから [削除] を選択します。この手順を繰り返して、4 つのライセンスをリストから削除します。
- 12 ライセンス一覧を閉じます。
- 13 タスクトレイの GV License Manager アイコンを右クリックし、コンテキストメニューから [Exit] を選択します。
- 14 [スタート] > [Grass Valley] > [GV License Manager (Server Mode)] を選択します。

第 8 章 ライセンス管理

パスワードの変更

以下の手順で、ライセンスサーバー管理コンソールの管理者パスワードを変更します。

- 1 フローティングライセンスサーバー上で、タスクトレイの通知領域上の GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List] を選択します。
- 2 [ライセンスサーバーをブラウザで開く] ボタンをクリックします。
- 3 Web ブラウザで管理コンソールが表示されます。[管理] タブをクリックします。
- 4 サインインダイアログが表示されます。以下のユーザー名とパスワードを入力し、[Submit] ボタンをクリックしてください。
 - ユーザー名: admin
 - パスワード: admin
- 5 サインインすると、パスワードの変更が必要になりますので、確認も含めて新しいパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

必要なサービスの状況を確認する


サービス一覧で必要なサービスが稼働していることを確認します。

- FlexNet Licensing Service 64
- GVLICENSESERVER

実行中でない場合は、サービスを右クリックし、コンテキストメニューから[再起動] を選択します。リストに表示されない場合は、サーバーを再起動してください。

ライセンスサーバーモジュールを再起動する

サーバー関連モジュールを再起動するための手順を説明します。

- 1 フローティングライセンスサーバー上で、タスクトレイの通知領域上の GV License Manager アイコン()を右クリックし、[License List] を選択します。
- 2 [ライセンスサーバーをブラウザで開く] ボタンをクリックします。
- 3 管理コンソールにサインインします。
- 4 [Vendor Daemon Configuration] タブを選択します。
- 5 [管理] をクリックします。

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
GVKK	Up	11.15	55187	Administer	Delete

- 6 [停止] ボタンをクリックします。

Vendor Daemon:GVKK

Vendor Daemon Port in Use: 60990

Vendor Daemon Actions

Stop Reread License Files

Report Log Name: **Rotate Report Logs**

- 7 ステータスが Shutting Down に変更されます。

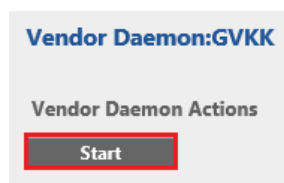
Name ▲	Status
GVKK	Shutting Down

- 8 数秒後、手動で Web ブラウザの画面を更新し、ステータスが Down に変わったことを確認します。

Name ▲	Status
GVKK	Down

- 9 [管理] をクリックします。

- 10 [スタート] ボタンをクリックします。



- 11 ステータスが Starting up に切り替わります。

Name ▲	Status
GVKK	Starting Up

- 12 別のタブに移動し [Vendor Daemon Configuration] に戻ることによって画面を更新してください。

- 13 ステータスが Up に変わったことを確認します。

Name ▲	Status
GVKK	Up

- 14 コンソールからサインアウトします。

- 15 Windows のタスクマネージャーを開きます。

- 16 GVLICENSESERVER を右クリックし、コンテキストメニューから [Restart] を選択します。

- 17 サービスが開始されたらモジュールの再起動は成功です。

モジュールを再起動しても問題が解決しない場合は、サーバコンピュータを再起動してみてください。

APPENDIX

ライセンス一覧

ライセンス形態	ライセンス	ライセンス認証の場所
必要なライセンス	EDIUS X Hub Server FL	フローティングライセンスサーバー
	EDIUS X Render Option FL	
	EDIUS X Sharing Option FL	
	EDIUS X Workgroup FL	
オプションライセンス	EDIUS X Render Option for Dolby Digital Pro FL	
	EDIUS X Dolby Digital Pro Option FL	

EDIUS の起動時にエラーが発生する

EDIUS の起動時に「ネットワークの状態とサーバーの残ライセンス数を確認してください」と表示された場合は、以下のトラブルシューティングを実施してください。

フローティングライセンスのコピー残量確認

- 1 GV License Manager を開き、[Open license server in browser] ボタンをクリックします。
- 2 サーバークンソールが Web ブラウザで開き、ライセンスコピーの「使用中」と「使用可能」数が表示されます。両者が同じ場合は、ライセンスコピーが残っていないため、EDIUS を起動することはできません。
- 3 **Hosts** リンクをクリックします。フローティングライセンスを使用している EDIUS のクライアント名が表示されます。いずれかのクライアントで EDIUS を終了し、ライセンスコピーをサーバーに返却します。

Feature	Version	In Use (Available)	Expiration
EDIUS X Workgroup WW	10.00	5 (5)	PERMANENT Hosts

必要なサービスの動作確認

- 1 Windows のタスクマネージャーを起動し、[サービス] を選択します。
- 2 FlexNet Licensing Service 64 と GVLICENSESERVER の両方が「実行中」になっていることを確認します。起動していない場合は、それぞれを右クリックし、[開始] を選択します。「起動中」になっている場合は、コンテキストメニューから [再起動] を選択します。
- 3 サーバークンソールで GV License Manager が起動していることを確認し、EDIUS クライアントアプリケーションを起動します。

ネットワークのトラブルにより使用できなくなる機能


EDIUS を使用する際は、フローティングライセンスサーバーへの接続を維持する必要があります。15 分以上接続を遮断した場合、EDIUS では以下の機能が無効となります。

- ファイルへの書出し
- テープへの書出し
- バッチエクスポート
- ディスクへの書き込み

– クイックタイトラーの使用

機能が無効になっている場合は、以下のトラブルシューティングをお試しください。

EDIUS クライアントで GV License Manager を再起動する。

- 1 プロジェクトを保存し、EDIUS を終了します。
- 2 GV Job Monitor を開き、キューイングされているジョブ、または進行中のジョブがあるかどうか確認します。存在する場合は、終了を待つか、キャンセルしてください(複数可)。
- 3 タスクトレイの GV License Manager アイコン()を右クリックし、[Exit] を選択します。
- 4 [スタート] > [Grass Valley] > [GV License Manager] を選択して GV License Manager を起動します。
- 5 EDIUS を起動します。

フローティングライセンスサーバーを再起動する

フローティングライセンスサーバーコンピューターの再起動を試してみてください。

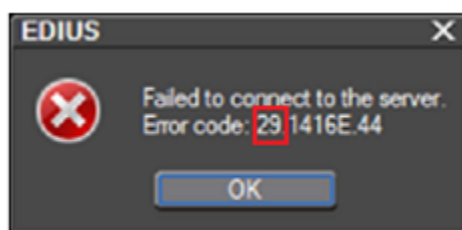
いずれのトラブルシューティングでも解決しない場合は、以下の内容をご確認の上、テクニカルサポートまでご連絡ください。

- 1 Web ブラウザでサーバーコンソールを開けるかどうか確認します。GV License Manager のライセンス一覧から [ライセンスサーバーをブラウザで開く] ボタンをクリックします。
- 2 Web ブラウザでライセンスサーバーを開き、「ホスト」リストに EDIUS クライアント名が表示されていることを確認します。

EDIUS クライアントがフローティングライセンスサーバーに再接続されると、無効になっていた機能が有効になります。

ライセンスの認証/認証解除中にエラーが発生する

ライセンスの認証/認証解除中にエラーが発生した場合、エラーコードが表示されます。



必要なトラブルシューティングの手順は、表示されるエラーコードによって異なります。詳しくは、[ナレッジベース](#)をご覧ください。